

デリバリーうき

舞鳴棒踊り保存会の演技



出演団体（出演順）

宇賀岳鬼岩太鼓・塚原神楽保存会・三角ふるさとの会・相撲取り踊り保存会・東松崎底井樋太鼓保存会（子ども）・豊野神楽保存会（乙女舞）・松崎おろろんべ保存会・曲野神社神楽保存会・上巢林雨乞い太鼓保存会・松橋民話昔話の会・大根踊り保存会・日本民謡椿会不知火支部（三味線）・舞鳴棒踊り保存会・豊川小学校（豊年餅つき踊り）

後第2回宇城市伝統文化芸能まつり 世に伝えたい失われつつある伝統文化

10月29日にウイングまつばせで開催されました。宇城市、宇城市教育委員会、宇城市伝統文化芸能まつり実行委員会が主催。市では昨年6月に伝統文化継承条例を制定。同年10月に初めて伝統文化芸能まつりを実施しました。

2回目となる今回は市内14団体が出演し、太鼓や神楽、踊り、民話、三味線などを披露。立ち見が出るほど客席を埋め尽くした観衆から、笑いや感嘆の声が上がり、出演者たちに惜しみない拍手が送られました。

遠く海外で結ばれた友愛の絆 第15回ジャガタラ友の会友愛の碑慰霊祭

第二次世界大戦前後の一時期にインドネシアで働いていた人たちでつくるジャガタラ友の会（神原武雄会長）が11月7日、3年に1度の慰霊祭を三角町三角浦の慰霊碑前で行いました。碑はインドネシアで歯科医をしていた同町大田尾の故三串菜さんの自宅庭に昭和41年に建立、三串さんの死後、平成元年に現地に移されました。この日は関東や関西、四国などから20人が参加し、冥福を祈りました。



3年間に亡くなった会員の名簿を碑に納め、碑の前でインドネシアを代表する歌曲「ブンガワン・ソロ」を歌う会員

整備された備品の一部



伝宝くじ助成事業 伝統文化の継承に一役

このほど、コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、古保山区に「古保山稚児神楽」の備品が整備されました。これは、宝くじ普及広報事業費を財源として、財団法人自治総合センターが助成決定を行うものです。今回の助成により整備されたのは、夏用狩衣や太鼓などの17種。今後、伝統文化の継承と古保山区の交流活動が盛んになることが期待されます。



セレクションであこがれの野口選手を先頭にジョギングする参加者

29日は岡岳グラウンドを会場に、小学5年生から中学生を対象としたセレクションがあり、県内全域から179人が参加。リズム感や持久力を見る20mシャトルランや、瞬発力や敏しょう性を見る反復横跳びなど、7つのメニューをこなしました。

目指せ！第2の野口みずき選手 第1回藤田ランニングアカデミー

アテネ五輪女子マラソン金メダリストの野口みずき選手が所属するシスメックス女子陸上部の藤田信之監督が設立した民間組織「藤田ランニングアカデミー（F・R・A）」の国内初のトークショーとセレクション（ランニング教室）が、このたび本市で開催されました。将来の日本代表になれる長距離・マラソン選手を発掘、育成することが目的です。

10月28日にラポートで行われたトークショーには、市内外から約500人が来場。藤田監督や野口選手が五輪の裏話などについて話し、観客たちは興味深く聞き入っていました。

映画曲や童謡など名曲が披露されました



校舎を訓練所として再利用 郡浦小学校再生記念演奏会

平成15年3月に閉校した三角町の郡浦小学校は、旧三角町から移管して市が管理し活用法を検討していましたが、社会福祉法人東康会が障害者就労支援のための訓練所として利用したいと要望。地元住民の同意を得て、10月から事業を始めました。10月22日には同所で記念演奏会が開かれ、地元囃託員や教育委員会関係者など約60人が出席。プロの演奏家たちが弦楽四重奏（第1・第2バイオリン、ビオラ、チェロ）を披露しました。

雇用を増やすために 宇城市雇用創出講演会

10月27日に市役所で「地域活性化の担い手育成と雇用機会の拡大」と題して行われ、企業や商工会などから約60人が出席しました。宇城市雇用促進協議会（吉富元浩会長）が主催。講師の株式会社オール・ビー・アイの岩藤一樹代表取締役が、地場産業の育成と起業家への支援をベースに置いた地域活性化の仕組みづくりについて講演しました。



他地域での取り組み事例を紹介する岩藤代表取締役